

学習・習熟支援インタフェース



知能情報システム工学講座
准教授 本吉 達郎

研究分野

ヒューマンインタフェース・インタラクション、
科学教育・教育工学

研究内容

知識や技能の伝達、習熟の支援に関わる研究を進めています。人やモノを介したインタラクションにおける情報の内容を明らかにしながら、人に優しい学習インタフェースなどの開発につなげてゆきます。

私の研究のポイント

伝える、伝わるとはなにか？に着目して研究を進めています。人は、単に文字やコトバを相手に提示する方法では、知識や技術をうまく伝えられない場合があります。技や概念に潜む人が体験的に得ていた言語化されにくい情報を明らかにし、また、これまでに暗に排除されてきたユーザのニーズを把握することで、人に優しいインタフェースの実現を目指します。

REPORT レポート

ブロック型プログラミングツールの開発

プログラミング作業にPC操作を必要としないブロック型プログラミングツールの開発に取り組んでいます。手触りで種類が判別できる木製ブロックを枠にはめ込むだけでプログラムが行えるため、子どもたちや視覚障害者にも自由に扱いやすく、アルゴリズム構造の理解に集中できます。また、授業準備における教員の負担も軽減できます。

